



第280号

目 次

関 係 法 令.....	2	学 内 諸 報.....	15
学 内 規 則.....	2	叙位・叙勲.....	15
富山大学学則の一部改正.....	2	海外渡航者.....	15
富山大学教育学部規則の一部改正.....	3	教育学部長の改選.....	16
富山大学経済学部規則の一部改正.....	3	理学部長の改選.....	16
富山大学地域共同研究センター創設準備委員会		工学部長の改選.....	16
要項の制定.....	12	トリチウム科学センター長の改選.....	16
諸 会 議.....	13	昭和61年度全国公務員レクリエーション共同行	
学 事.....	14	事富山地区ボーリング大会.....	16
学位取得者.....	14	職 員 消 息.....	17
昭和62年度文部省在外研究員派遣予定者の決定.....	14	主 要 行 事.....	17
昭和62年度文部省内地研究員の決定.....	14	資 料.....	20
人 事 異 動.....	15	昭和62年度入学志願者数.....	20

関係法令

政 令

- 健康保険の被保険者に係る健康保険法の適用及び厚生年金保険の適用事業所に係る厚生年金保険法の適用に関する政令(27) 2・27
- (注) 常時3人又は4人の従業員を使用する国又は法人の事業所又は事務所に使用される者を昭和62年4月1日から健康保険の被保険者とする事及び厚生年金保険の適用事業所とすることとした。

省 令

- 健康保険法施行規則の一部を改正する省令(厚生9) 2・12

告 示

- 政府の管掌する健康保険の保険料率を定める件(厚生19) 2・12
- 日雇特例保険者に関する保険料額並びに日雇特例被保険者及びその事業主の負担すべき額を定める件(厚生20) 2・12
- 昭和62年度科学研究費補助金(海外学術研究—大学間協力研究)の計画調書の提出期間を定める件(文部15) 2・20

公 告

- 日本学術会議第14期会員の推薦について 2・25

学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和62年2月20日

富山大学長 大井 信 一

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則(昭和59年3月12日制定)の一部を次のように改正する。

第63条に次のただし書を加える

ただし、入学を許可するときに授業料を納付した者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返付する。

附 則

この学則は、昭和62年2月20日から施行する。

▶ 富山大学学則の改正理由

国立学校における新入生前期分授業料の徴収方法等について(昭和61年7月31日付け文高学第228号文部省高等教育局長及び文部省大臣官房会計課長通知)に基づき、新入生前期分授業料の取扱いに関し、所要事項を改める。

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和62年 2 月20日

富山大学長 大 井 信 一

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年 4 月18日制定）の一部を次のように改正する。

別表II(イ)教職科目中

	道徳教育の研究	4	2		2		2	2		の次に
--	---------	---	---	--	---	--	---	---	--	-----

	教育情報科学	2								を加え、
--	--------	---	--	--	--	--	--	--	--	------

計	126	30	6	16	2	26	16	12	を
		36		18					

計	128	30	6	16	2	26	16	12	に改める。
		36		18					

附 則

この規則は、昭和62年 4 月 1 日から施行する。

▶ 富山大学教育学部規則の改正理由

新たに教育情報科学の授業科目を開設するため、所要事項を改める。

富山大学経済学部規則の一部改正

富山大学経済学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和62年 2 月20日

富山大学長 大 井 信 一

富山大学経済学部規則の一部を改正する規則

富山大学経済学部規則（昭和50年 6 月27日制定）の一部を次のように改正する。

別表第 1 及び別表第 2 を次のように改める。

経営学科 (夜間主コース)

系列	授 業 科 目					単 位 数				系列	授 業 科 目					単 位 数								
	開	必	選	必	選	開	必	選	必		選	開	必	選	必	選	開	必	選	必	選			
	設	修	択	修	修	設	修	修	修	設	修	修	修	修	設	修	修	修	修	設	修	修	修	修
経営学系	理論経済学	経経経現経生	済済代活	原原変本	論論動義	I II 論論史学	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	比較経済論	経世日日	済界本本	史経経産地	総済済業理	論論論論学	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	政策科学	経産農資社	済業源会	策業源会	総政政	論策策策学	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	応用経済学	金銀国財地	際政方際	融行金学	融総政	論論論論学	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
経営学系	経営学	経経経企	営営営	学組管業	総織理	論史論論	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	経営学	経経経財	営営営	学組管業	境総管理	論史論論	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	経営学	経経経財	営営営	学組管業	境総管理	論史論論	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	経営学	経経経財	営営営	学組管業	境総管理	論史論論	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
経営学系	応用経営	財管原流	務理価	管計	管算	理論論論	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	応用経営	財管原流	務理価	管計	管算	理論論論	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
備考																								
この表に掲げる授業科目のほか、特殊講義を設けることができる。																								

別表第2

単 位 修 得 方 法

(昼間主コース)

区分	経済学科		経営学科		経営法学科	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
必修科目	経済学演習 経営学演習	8 } 8 } A	経営学演習 経済学演習	8 } 8 } A	憲法Ⅰ(統治機構) 民法総則 法学演習	4 4 8
計		8		8		16
選択必修科目	経済原論Ⅱ ミクロ経済学 マクロ経済学 経営学総論 簿記原理 民法総則 会社法	4 } 4 } B 4 } 4 } 4 } C 4 } 4 }	経営学総論 経営管理論 経営史総論 財務会計論 簿記原理 流通総論 保険総論 経営科学概論 情報処理総論	4 } 4 } 4 } 4 } D 4 } 4 } 4 } 4 } 4 }	憲法Ⅱ(人権) 刑法総論 裁判法 政治学 物権法 債権法 債権担保法 民事訴訟法 商法総則・商行為法 会社法 手形小切手法 法学卒業論文	4 } 4 } 2 } 4 } 4 } E 4 } 4 } 4 } 4 } 4 } 6 }
計		12		12		20
選択科目	経済学系20単位を 含め	72以上	経営学系36単位を 含め	72以上	経営法学科 経済・経営学系	20以上 36以上
計		72以上		72以上		56以上
合計		92以上		92以上		92以上

注 A. 1科目を必修科目とする。
 B. 2科目を選択必修科目とし、他の科目は選択科目とする。
 C. 1科目を選択必修科目とし、他の科目は選択科目とする。
 D. 3科目を選択必修科目とし、他の科目は選択科目とする。
 E. 5科目を選択必修科目とし、他の科目は選択科目とする。
 F. 30単位を限度として、夜間主コースで開講される授業科目から履修することができる。
 ただし、演習、外国書講読及び卒業論文は除く。

(夜間主コース)

区分	経済学科		経営学科		経営法学科	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
必修科目	経営学演習 経営学演習	8 } A 8 }	経営学演習 経済学演習	8 } A 8 }	憲法概論 財産法概論I 法学演習	4 4 8
計		8		8		16
選択必修科目	経済原論I 経済原論II	4 } B 4 }			行政法概論 刑法概論 裁判法 財産法概論II 民事訴訟法 商法概論 手形小切手法 労働法概論 法学卒業論文	4 } 4 } 2 } 4 } 4 } 4 } 4 } 4 } 6 }
計		4				12
選択科目	経済学系32単位を 含め	64以上	経営学系36単位を 含め	68以上	経営法学科 経済・経営学系	12以上 36以上
計		64以上		68以上		48以上
合計		76以上		76以上		76以上
注	A. 1科目を必修科目とする。 B. 1科目を選択必修科目とし、他の科目は選択科目とする。 C. 3科目を選択必修科目とし、他の科目は選択科目とする。 D. 一般教育課程及び専門教育課程において、30単位を限度として、昼間主コースで開講される授業科目から履修することができる。ただし、演習、外国書講読及び卒業論文は除く。					

附 則

- 1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日において、専門教育課程へ移行している者については、なお従前の例による。
- 3 前項に該当しない昭和60年度以前の入学者については、別表第1の昼間主コースの表及び別表第2の

昼間主コースの表（ただし、注Fを除く。）を適用する。

▶富山大学経済学部規則改正の理由

経済学部経済学科等の拡充改組に伴い、所要事項を改める。

富山大学地域共同研究センター創設準備委員会要項の制定

富山大学地域共同研究センター創設準備委員会要項を次のとおり制定する。

昭和62年2月20日

富山大学長 大 井 信 一

富山大学地域共同研究センター創設準備委員会要項

(設 置)

第1条 富山大学に、地域共同研究センター(以下「センター」という。)が設置されるまでの間、その創設準備のため、工学部に地域共同研究センター創設準備委員会(以下「準備委員会」という。)を置く。

(組 織)

第2条 準備委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- | | |
|------------------------------|-----|
| (1) 理学部の教授 | 4名 |
| (2) 工学部の教授 | 8名 |
| (3) 教育学部、教養部及びトリチウム科学センターの教授 | 各1名 |
| (4) 工学部事務長 | |
| (5) その他必要と認める者 | 若干名 |

2 前項の委員は、学長が命ずる。

(審議事項)

第3条 準備委員会は、センターに関する次の事項を審議し、必要な措置を行う。

- (1) 民間等外部の機関との連携協力に関する事項
- (2) センター長及び教官の推薦に関する事項
- (3) 施設、設備の整備計画に関する事項
- (4) その他創設準備に関する必要な事項

(センター長等の推薦及び選考)

第4条 前条第2号に掲げる事項の審議は、第2条第1項第1号から第3号までの委員で行う。センター長及び教官の選考は、準備委員会の推薦により工学部教授会の議を経て学長が行う。

(議事及び運営)

第5条 準備委員会に委員長を置く。委員長は、委員の互選による。

2 委員長は、準備委員会を招集しその議長となる。ただし、委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を行う。

3 準備委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開会できない。

4 議事は、出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長がこれを決する。

5 センターが設置されたときは、準備委員会の議決事項をセンターの管理運営機関の議決事項とみなす。

6 その他準備委員会の運営に必要な事項は、委員長が定める。

(庶 務)

第6条 準備委員会の庶務は、工学部事務部において処理する。

附 則

- 1 この要項は、昭和62年2月20日から実施する。
- 2 この要項は、富山大学地域共同研究センターが設置された日に、その効力を失う。

▶富山大学地域共同研究センター創設準備委員会要項の制定理由

富山大学地域共同研究センターの新設に伴う創設準備委員会に関し、必要事項を定める。

諸 会 議

昭和62年公開講座第2回委員会（2月2日）

（議 題）

昭和62年度公開講座の実施計画について

第5回富山大学情報処理センター運営委員会（2月13日）

（議 題）

1. 組織変更について
2. オペレーション業務請負の件について

昭和61年度第5回大学院委員会（2月13日）

（審議事項）

1. 昭和62年度富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
2. 昭和62年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及び工学研究科（修士課程）第2次入学試験合格者の判定について
3. 富山大学大学院規則の一部改正（案）について

昭和61年度第12回入学試験管理委員会・第6回入学者
選抜方法研究委員会の合同委員会（2月13日）

（審議事項）

各学部で合格者を決定する際の判定資料の内容について

富山大学放射性同位元素委員会（2月16日）

（議 題）

トリチウム許可使用量の増量申請について

昭和61年度第1回体育施設委員会（2月16日）

（議 題）

富山大学体育施設運営協議会要項について

昭和61年度第5回入学者選抜方法研究委員会専門委員

会（2月17日）

（議 題）

入学者選抜方法の改善に伴う昭和60年度以降（第5期分）の調査研究事項について

昭和61年度第3回教務委員会（2月17日）

（審議事項）

昭和62年度非常勤講師について

第11回評議会（2月20日）

（審議事項）

1. 富山大学学則の一部改正について
2. 富山大学教育学部規則の一部改正について
3. 富山大学経済学部規則の一部改正について
4. 富山大学地域共同研究センター創設準備委員会要項の制定について
5. 昭和62年度富山大学教育専攻科及び経済学専攻科入学者選抜試験合格者の判定について

昭和62年公開講座第3回委員会（2月23日）

（議 題）

昭和62年度公開講座の実施計画について

教務委員会及び補導協議会の合同委員会（2月26日）

（審議事項）

富山大学学生部長選考基準に基づく次期学生部長候補適任者の選定について

昭和61年度第5回補導協議会（2月26日）

（審議事項）

1. 昭和62年度入学生行事日程について
2. 第32回大学祭について
3. 文化部会2号委員について
4. 音楽系サークルの騒音問題について

学 事

学 位 取 得 者

取得者 工学部 助手 諸橋 昭一

学位の種類 工学博士（東北大学）

取得年月日 昭和61年11月12日

学位論文名 摩砕による超微粉体の製造に関する基礎的研究

取得者 経済学部 教授 中藤 康俊

学位の種類 農学博士（名古屋大学）

取得年月日 昭和62年 1 月27日

学位論文名 日本農業の地域構造に関する実証的研究

昭和62年度文部省在外研究員派遣予定者の決定

種 類	学部名	職 名	氏 名	主たる滞在地名及び当該滞在地の属する国名	調査研究題目	派 遣 期 間
長期(甲)	工 学 部	助 教 授	五 嶋 孝 仁	エバンストン (アメリカ合衆国)	異種弾性体の接触熱応力に関する研究	10月
	経済学部	〃	中 山 幹 夫	エバンストン (アメリカ合衆国)	ゲーム理論と数理経済学	10
短 期	理 学 部	〃	田 口 茂	オ タ ワ (カナダ)	水中の微量成分の定量に関する研究	2
	工 学 部	〃	島 崎 長一郎	マインツ (ドイツ連邦共和国)	トリアジン系化合物の分解と生成に関する研究	2
長期(甲) (若手)	人文学部	講 師	村 井 文 夫	パ リ (フランス)	イリュミニズムとプレ・ロマンティズム	10

昭和62年度文部省内地研究員の決定

所 属	職 名	氏 名	研 究 場 所	研 究 課 題	派 遣 期 間
教 養 部	助 教 授	中 河 伸 俊	京 都 大 学	逸脱現象（とくに青少年非行）の社会的構成の研究	昭和62年 5 月 1 日 ） 昭和63年 2 月29日
工 学 部	助 手	川 崎 博 幸	〃	気液上昇並流充填塔に関する研究	昭和62年 5 月 1 日 ） 昭和62年10月31日

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
退 職	62. 3. 1	北 野 哲	技術補佐員(経理部主計課)	昭和62年2月28日限り退職した	富山大学長
	"	門 村 英 城	技術補佐員(経理部主計課)	昭和62年2月28日限り退職した	"
	"	平 田 賢 治	技術補佐員(経理部主計課)	昭和62年2月28日限り退職した	"
	"	中 島 満 雅	教務補佐員(教養部)	昭和62年2月28日限り退職した	"
	"	本 田 善 彦	事務補佐員(附属図書館)	昭和62年2月28日限り退職した	"
	"	藤 木 彌三郎	事務補佐員(附属図書館)	昭和62年2月28日限り退職した	"

学 内 諸 報

叙位・叙勲

本学名誉教授新田隆信氏は、昭和62年1月16日逝去(享年70才)されましたが、同氏の生前の功績に対し、同日付けで従三位に叙され、勲三等旭日中綬章が授与されました。

本学名誉教授池田正夫氏は、昭和62年2月4日逝去(享年66才)されましたが、同氏の生前の功績に対し、同日付けで正四位に叙され、勲三等旭日中綬章が授与されました。

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
海外研修旅行	教養部	助教授	湯川 純幸	アメリカ合衆国	(西部スピーチ・コミュニケーション学会) 1987年度大会に参加発表	62. 2. 13) 62. 2. 20
	教育学部	助 手	結城 善之	インドネシア	ハサヌティン大学との大農場開発のための共同研究	62. 2. 13) 62. 2. 23

◎ 退庁, 退室の際には, 戸締りの徹底・電気, ガスの消し忘れ, タバコの吸殻の後始末に十分注意し, 盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気, ガス, 水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

教育学部長の改選

野村 昇教育学部長の任期が、昭和62年3月30日に満了することに伴い、教育学部教授会は、2月18日に次期学部長候補者の選挙を行った。その結果、現職の

野村 昇教授が再選された。
任期は、昭和62年3月31日から2年間。

理学部長の改選

中川正之理学部長の任期が、昭和62年3月31日に満了することに伴い、理学部教授会は、2月18日に次期学部長候補者の選挙を行った。その結果、小黒千足教授が選出されました。任期は、昭和62年4月1日から2年間。

小黒教授は、昭和28年3月北海道大学理学部動物学科を卒業後、同28年4月北海道大学大学院(修士課程)に入学同、29年8月同大学院を中退、同月北海道大学理

学部助手、同41年4月富山大学文理学部助手、同43年4月同助教授、同49年7月同教授、同52年5月文理学部改組により理学部教授となり、この間、昭和54年5月から4期にわたり富山大学評議員を併任、現在に至っています。

専門は、形態学(比較内分泌学)理学博士、北海道出身。

工学部長の改選

位崎敏男工学部長の任期が昭和62年4月1日に満了することに伴い、工学部教授会は2月23日に次期学部長候補者の選挙を行った。その結果、作道栄一教授が選出されました。任期は、昭和62年4月2日から2年間。

作道教授は、昭和28年3月富山大学工学部工業化学

科を卒業後、民間会社を経て、同36年4月工学部助手、同39年4月同講師、同46年1月同助教授、同52年4月同教授となり、この間、昭和52年7月から2年間附属図書館工学部分館長、昭和60年6月から富山大学評議員を併任、現在に至っています。

専門は、応用物理化学。理学博士。富山県出身。

トリチウム科学センター長の改選

中川正之トリチウム科学センター長の任期が、昭和62年3月31日に満了することに伴い、トリチウム科学センター運営委員会は2月23日に次期センター長候補者の選考について審議を行った。その結果、全会一致

をもって理学部教授小黒千足氏を選定し、学長に推薦することになりました。

なお、次期センター長の任期は、昭和62年4月1日から昭和64年3月31日までである。

昭和61年度全国公務員レクリエーション 共同行事富山地区ボウリング大会

昭和61年度全国公務員レクリエーション共同行事富山地区ボウリング大会が、去る2月21日(土)トヤマゴールデンボウル(富山市千歳町)において、富山財務事務所の本番で開催されました。

競技は午後1時30分から始まり、2ゲームによる合計得点数によって団体戦及び個人戦の順位を決定する方法で実施されました。

本学からは、4チーム12名が参加しましたが残念ながら団体戦・個人戦に入賞できませんでした。

なお、団体戦の成績は次のとおりです。

団体戦

- | | |
|-----|--------------|
| 優 勝 | 富山医科薬科大学Bチーム |
| 次 勝 | 〃 Aチーム |
| 三 位 | 富山食糧事務所Aチーム |

- 9～10日 学内会計監査
 10日 入国管理事務に関する説明会
 13日 第5回大学院委員会
 情報処理センター運営委員会
 入学試験管理委員会・入学者選抜方法研究
 委員会 合同委員会
 入学定員確保のための情報交換会
 16日 放射性同位元素委員会
 部課長会議
 第1回体育施設委員会
 17日 教務委員会
 入学者選抜方法研究委員会専門委員会
 18日 報道関係者との懇談会
 19日 事務電算化委員会
 20日 第11回評議会
 第5回総合大学院検討委員会自然科学部会
 21日 R連盟ボウリング大会
 (於：トヤマゴールデンボウル)
 23日 第3回公開講座委員会
 23～24日 臨時東海・北陸地区国立大学事務局長会議
 (於：浜松医科大学)
 24日 第2回放射性同位元素総合実験室運営委員
 会昭和61年度東海・北陸地区国立学校施設
 系職員研修会(於：豊橋技術科学大学)
 公務員採用試験に関する説明会
 25～26日 昭和62年度推薦入学・社会人特別選抜合格
 者の入学手続
 教務・補導委員会の合同委員会
 第5回補導協議会

人文学部

- 2月2日 学内会計監査
 3日 大学院人文科学研究科入学試験
 大学院委員打合せ会
 4日 紀要委員会
 10日 大学院人文科学研究科委員会
 人事教授会
 13日 学部教務・補導委員会合同会議
 14日 後学期授業終了
 大学院人文科学研究科合格者発表
 16日 事務連絡会
 16～21日 集中講義指定期間

- 18日 教授会
 人事教授会
 人文学部長候補者選挙管理委員会
 19日 学部入学志願者調査書審査
 20日 真率会役員会
 23日 事務連絡会
 25日 人文学部長候補者選挙管理委員会

教育学部

- 2月1日 附属中学校入学者第一次選考(学力検査)
 3日 学内会計監査
 附属小学校入学者第一次選考(発育検査)
 4日 教務委員会
 補導委員会
 人事教授会
 5日 附属中学校入学者第二次選考(抽選)
 7日 教育専攻科入学者選抜試験
 附属小学校入学者第二次専攻(抽選)
 11日 後学期授業終了
 18日 学部教務・補導合同委員会
 教授会
 学部長候補者選挙
 19～20日 第30回記念国立大学教育工学センター協議
 会及び研究会(於：東京学芸大学)
 21日 教育専攻科合格者発表
 23～25日 昭和61年度教員養成学部学生合宿研修(冬
 季)(於：山野スポーツセンター・県営ゴ
 ンドラスキー場)

経済学部

- 2月3日 コンピューター管理運営委員会
 4日 夜間主コース運営委員会
 学部教務委員会
 5日 学内会計監査
 6日 経済学専攻科入学試験選考委員会
 論集委員会(持ち回り)
 9日 学部図書委員会
 10日 後学期授業終了
 12日 学部入学方法検討委員会
 学部教務委員会

人事教授会
教授会
19日 学部施設整備委員会
20日 学部職業補導委員会
21日 経済学専攻科合格者発表
24日 短大事務引継打合せ会
25日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
26日 学部入学方法検討委員会

理 学 部

2月2日 学内会計監査
3日 大学院理学研究科（第2次）入学志願者調査書審査
理学部長候補者選挙管理委員会
4日 人事教授会
4～5日 大学院理学研究科（第2次）入学試験
12日 理学研究科委員会
人事教授会
14日 後学期授業終了
大学院理学研究科（第2次）合格者発表
16日 学部入試改善委員会
事務連絡会
18日 教授会
学部長候補者選挙
人事教授会
19日 学部入学志願者調査書審査
20日 真率会役員会
23日 事務連絡会

工 学 部

2月
3～4日 大学院工学研究科（第2次）入学試験
4日 学科主任会議
防火対策委員会
6日 学内会計監査
16日 学部教務委員会
18日 教授会

専任教授会
20日 学部構内交通対策委員会
23日 教授会
教官懇談会

教 養 部

2月14日 後学期授業終了
16日 補導委員会
18日 人事教授会
教授会

附 属 図 書 館

2月4日 学内会計監査
12日 係長事務打合せ会
13日 小ワーキンググループ打合せ会
16日 学術情報センターとの研究討議
19日 小ワーキンググループ打合せ会
24日 小ワーキンググループ打合せ会

トリチウム科学センター

2月23日 昭和61年度第6回富山大学トリチウム科学センター運営委員会
(於：トリチウム科学センター会議室)

保健管理センター

2月4日 臨時健康診断（教養部スキー実習参加者）
10日 学内会計監査

経営短期大学部

2月4日 学内会計監査
24日 経済・短大事務引継打合せ会
26日 教授会

資 料

昭和62年度入学志願者数

学 部	学 科・課 程	昭 和 62 年 度			昭 和 61 年 度			
		募集人員	志願者数	倍 率	募集人員	志願者数	倍 率	
人 文 学 部	人 文 学 科	95	382	4.0	95	354	3.7	
	語 学 文 学 科	95	358	3.8	95	244	2.6	
	計	190	740	3.9	1 190	598	3.1	
教 育 学 部	小学校教員養成課程	140	666	4.8	140	159	1.1	
	中学校教員養成課程	50	396	7.9	50	122	2.4	
	養護学校教員養成課程	20	103	5.2	20	49	2.5	
	幼稚園教員養成課程	30	110	3.7	30	93	3.1	
	計	240	1,275	5.3	240	423	1.8	
経 済 学 部	昼間主 コース	経 済 学 部	144	886	6.2	144	352	2.4
		経 営 学 科	124	734	5.9	124	433	3.5
		経 営 法 学 科	102	379	3.7	102	771	7.6
		小 計	370	1,999	5.4	370	1,556	4.2
	夜間主 コース	経 済 学 科	20	100	5.0	20	44	2.2
		経 営 学 科	20	67	3.4	20	45	2.3
		経 営 法 学 科	20	62	3.1	20	42	2.1
		小 計	60	229	3.8	60	131	2.2
	計	430	2,228	5.2	430	1,687	3.9	
	理 学 部	数 学 科	43	167	3.9	43	64	1.5
物 理 学 科		35	257	7.3	35	46	1.3	
化 学 科		43	238	5.5	43	69	1.6	
生 物 学 科		35	306	8.7	35	66	1.9	
地 球 科 学 科		32	227	7.1	32	84	2.6	
計		188	1,195	6.4	188	329	1.8	
工 学 部	電 気 工 学 科	53	392	7.4	53	154	2.9	
	工 業 化 学 科	48	394	8.2	48	146	3.0	
	金 属 工 学 科	43	290	6.7	43	197	4.6	
	機 械 工 学 科	53	565	10.7	53	164	3.1	
	生 産 機 械 工 学 科	43	372	8.7	43	202	4.7	
	化 学 工 学 科	43	329	7.7	43	109	2.5	
	電 子 工 学 科	43	345	8.0	43	70	1.6	
	計	326	2,687	8.2	326	1,042	3.2	
合 計	1,374	8,125	5.9	1,374	4,079	3.0		

(注) 理学部物理学科の募集人員には、定員一部留保第2次募集人員(12)を除く。

編 集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電 話 (24) 1755(代)